



天草

市政だより

日本の宝島 “天草”の創造を目ざして！

平成22年

5.1

No.98



主な内容

- 天草市長・市議会議員選挙 …… 2～3
- 平成22年度 予算 …… 4～5
- 市政に関するアンケート結果報告 …… 6～9
- 天草市健康運動事業の紹介 …… 10～13
- ありがとうわが母校 …… 14～15
- 本渡中学校開校 …… 16～17
- ふるさと応援寄附金 …… 18
- 宝島のわだい …… 19～23
- みんなの広場 …… 24～27

“春らんまん”桜並木の小道を楽しむ人たち

一町田川と葛河内川が合流する河浦支所横のコレジヨ庭園周辺には、約100本の桜・ソメイヨシノが植えられています。今年は、満開を迎えるころに寒い日が続いたことから、例年よりも長く桜を楽しむことができ、夜にはライトアップされた夜桜が見れるなど、連日多くの花見客でにぎわいました。なお、同所には約3,000本のツツジも植えられており、鮮やかに色づいた花がすでに見ごろを迎えています。皆さん、ぜひお出かけください。

市議会議員30人の顔ぶれ

(敬称略)



天草市長・市議会議員選挙データ

選挙当日の 有権者数(人)	●市長選挙●		●市議会議員選挙●	
	投票者数(人)	投票者率(%)	投票者数(人)	投票者率(%)
	〔男〕 27,281	〔男〕 77.75	〔男〕 27,283	〔男〕 77.76
	〔女〕 33,073	〔女〕 79.20	〔女〕 33,072	〔女〕 79.20
	〔計〕 60,354	〔計〕 78.54	〔計〕 60,355	〔計〕 78.54

安田公寛市長が再選 市議会議員30人が決まる

～天草市長・市議会議員選挙～

任期満了に伴う天草市長・市議会議員選挙が3月28日に行われ、即日開票の結果、安田公寛市長が再選され、市議会議員30人が決まりました。同29日には、安田市長が市役所に初登庁。市職員から花束を笑顔で受け取り、市民や市職員から拍手で出迎えられました。

なお、市議会議員30人の顔ぶれと同選挙データについては、次のページをご覧ください。

第一次産業の振興を核に 市の発展を図る

天草市長 安田 公寛

先の天草市長選挙におきまして、2期目の当選をさせていただき、天草市政のかじ取りという重責を再び担わせていただくことになりました。

合併して4年、合併協議をもとに、「だれもが誇りに思い、安心して心豊かに暮らせる宝の島」を目ざし、地域の自立と産業の振興を図るための諸施策を進めてまいりました。この間、新市の行財政基盤の構築という点では、順調に進めることができましたものと思っておりますが、課題も多く残っていると感じております。

今回の市長選挙におきましても、『日本の宝島“天草”の創造』を基本理念とする、7つのプロジェクトと50の政策を掲げたローカル・マニフェストを発表させていただきましたが、何よりも、第一次産業の振興を核に雇用の場を創っていくことが、天草市発展の基本であると思っております。

今後、第一次天草市総合計画とローカル・マニフェストとの整合性を図りながら、粉骨碎身、全力を挙げて、天草市の発展、住民福祉の向上に向けて取り組む覚悟でございますので、市民各位のご指導とご協力をお願い申し上げます、市長再任のあいさつといたします。

平成22年度 予算

平成22年度の当初予算が、第1回市議会定例会で決まりました。『日本の宝島「天草」の創造』をまちづくりの基本理念とする第1次天草市総合計画の着実な推進に向けて、予算を編成しています。

今号では、平成22年度の予算について紹介します（※金額は万円未満を四捨五入。構成比や予算額については、千円単位での取り扱いですので必ずしも一致しません）。

なお、施策と主な事業については、「市政だより天草」8月1日号でお知らせします。

一般会計

一般会計の予算額は486億4,995万円、前年度と比べると8億1,050万円の減少となっています。

【歳入】

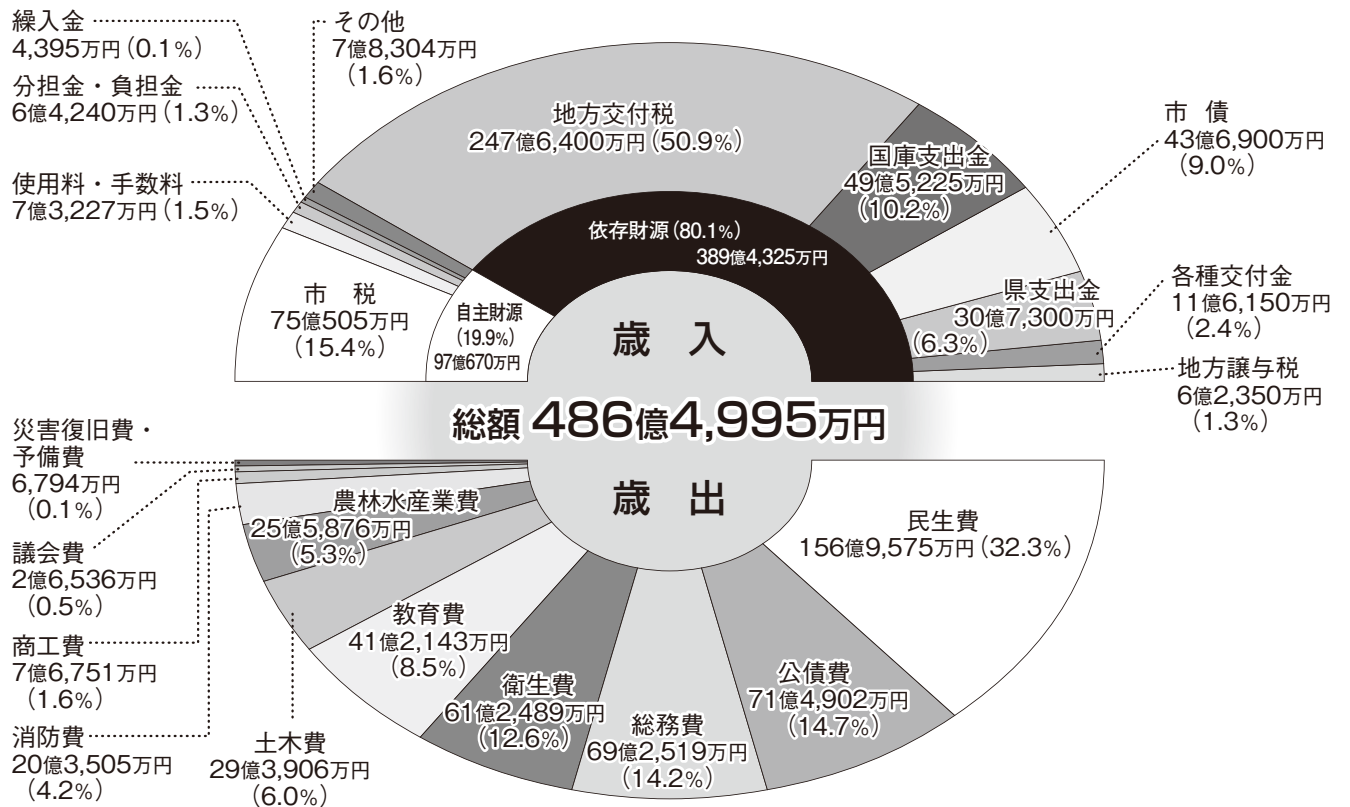
歳入は、市税や使用料・手数料など、市が自主的に収入できる「自主財源」と、地方交付税や国・県の支出金、国や金融機

関などから借り入れる市債などの「依存財源」に分けられます。

平成22年度の自主財源は、97億670万円で、歳入総額に占める割合は19.9%（前年度20.0%）となっています。一方、依存財源は389億4,325万円、25万円で、歳入総額に占める割合は80.1%（同80.0%）となっています。

※一般会計予算の内訳は下グラフのとおりです。

◆一般会計予算の内訳



【歳出】

歳出は、使われるお金の目的によって、民生費や総務費など12項目に分けられます。

今年度の予算で最も大きな割合を占めているのは民生費（32.3%）です。民生費とは、お年寄りや障がいのある人に対する福祉の充実、子育て環境の充実などに使われる費用です。

特別会計

これに続いて、公債費、総務費、衛生費、教育費、土木費の順になっています。

◆特別会計の予算額		別表1	
区分	平成22年度	前年度比較	増減率
国民健康保険	141億8,226万円	▲3億8,374万円	▲2.6%
老人保健医療	756万円	▲1億7,177万円	▲95.8%
介護保険	94億3,155万円	3億1,079万円	3.4%
後期高齢者医療	12億7,325万円	7,117万円	5.9%
公共下水道事業	12億2,866万円	▲1億5,083万円	▲10.9%
特定環境保全公共下水道事業	6億8,360万円	▲1億511万円	▲13.3%
農業集落排水事業	5,269万円	▲294万円	▲5.3%
漁業集落排水事業	8億3,448万円	3億9,746万円	90.9%
浄化槽市町村整備推進事業	1億7,174万円	506万円	3.0%
簡易水道事業	17億6,096万円	▲6億6,384万円	▲27.4%
国民健康保険診療施設	2億256万円	1,387万円	7.3%
歯科診療所	4,762万円	204万円	4.5%
埠頭事業	1,137万円	▲315万円	▲21.7%
斎場事業	9,953万円	▲2,727万円	▲21.5%
一町田財産区	323万円	11万円	3.7%
新合財産区	67万円	▲1万円	▲2.3%
富津財産区	10万円	▲2万円	▲15.1%
合計	299億9,183万円	▲7億818万円	▲2.3%

※▲＝マイナス

◆企業会計の予算額				別表2
区 分		平成22年度	前年度比較	増減率
病 院 事 業	収益的収入	37億9,340万円	8,081万円	2.2%
	収益的支出	37億9,340万円	8,081万円	2.2%
	資本的収入	2億3,345万円	7,157万円	44.2%
	資本的支出	4億1,420万円	9,788万円	30.9%
水 道 事 業	収益的収入	14億2,531万円	▲6,133万円	▲4.1%
	収益的支出	13億8,390万円	▲7,427万円	▲5.1%
	資本的収入	7億3,156万円	▲473万円	▲0.6%
	資本的支出	14億5,924万円	▲3,838万円	▲2.6%

※▲＝マイナス

企業会計

企業会計は、商店や会社などの民間企業と同じように、その事業で得た収入をもって支出をする独立採算制の会計で、地方公営企業法により設置しているものです。

本市では、病院事業と水道事業を企業会計で処理しています。※それぞれの予算額は別表2のとおりです。



市政に関するアンケート

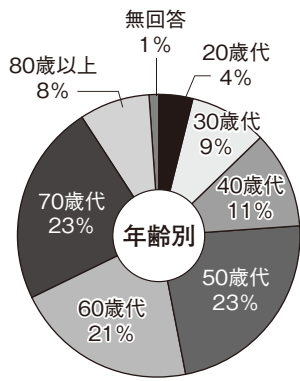
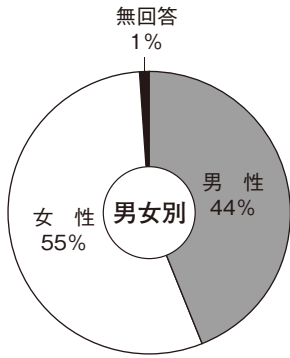
結果を報告します

市では、市民の皆さんの市政に対する満足度や市町合併についての評価などを把握するため、今年1月、「市政に関するアンケート」を実施しました。今回は、その結果の一部を報告します。

なお、すべての結果については、本庁・企画課や各支所・総務振興課のほか、市のホームページでご覧いただけます。

調査の概要

- 調査対象Ⅱ市内に居住する20歳以上の人を、住民基本台帳から無作為に抽出
- 抽出数Ⅱ2,000人
- 回答者数Ⅱ883人
- 回収率Ⅱ44・1%



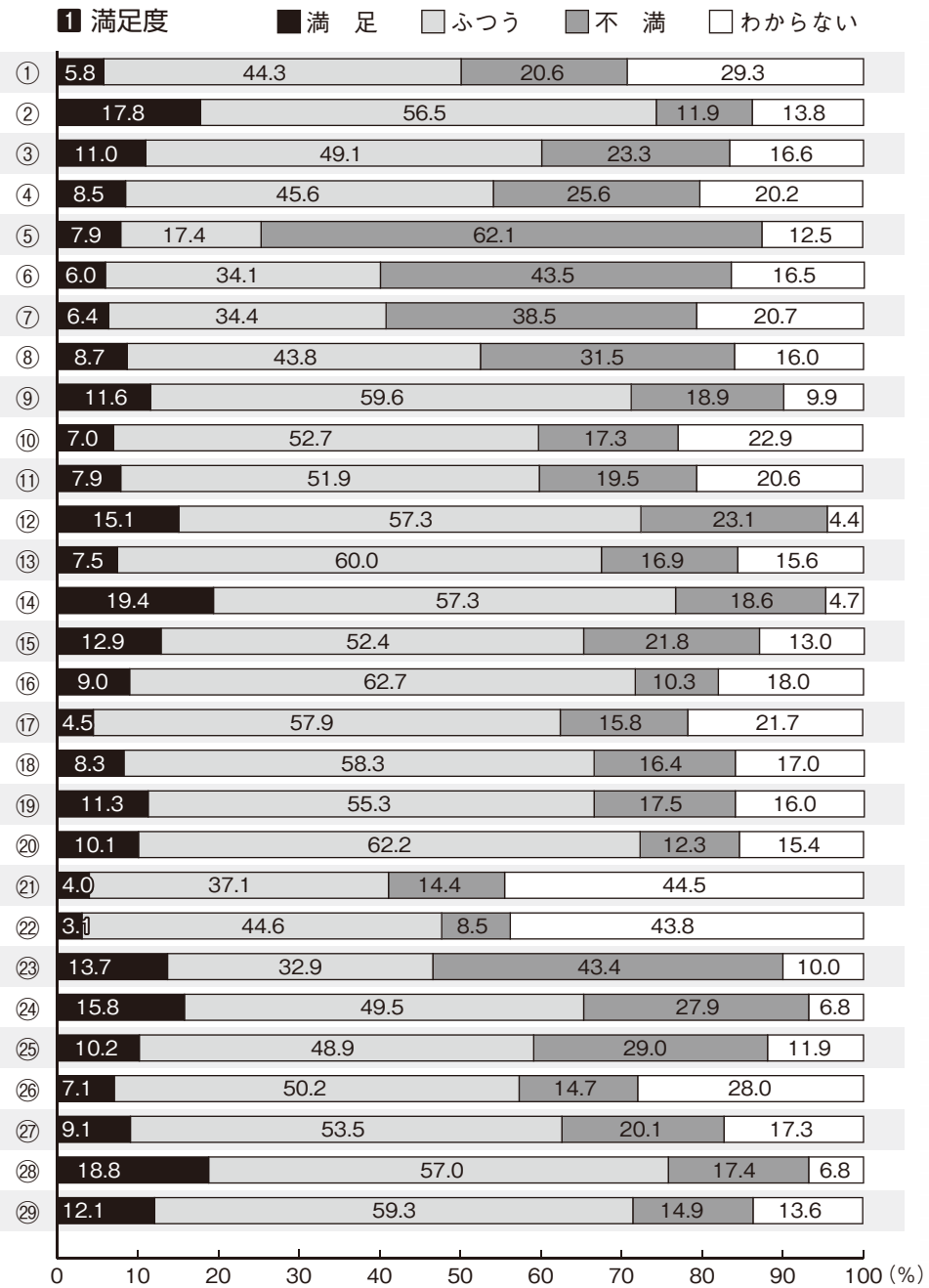
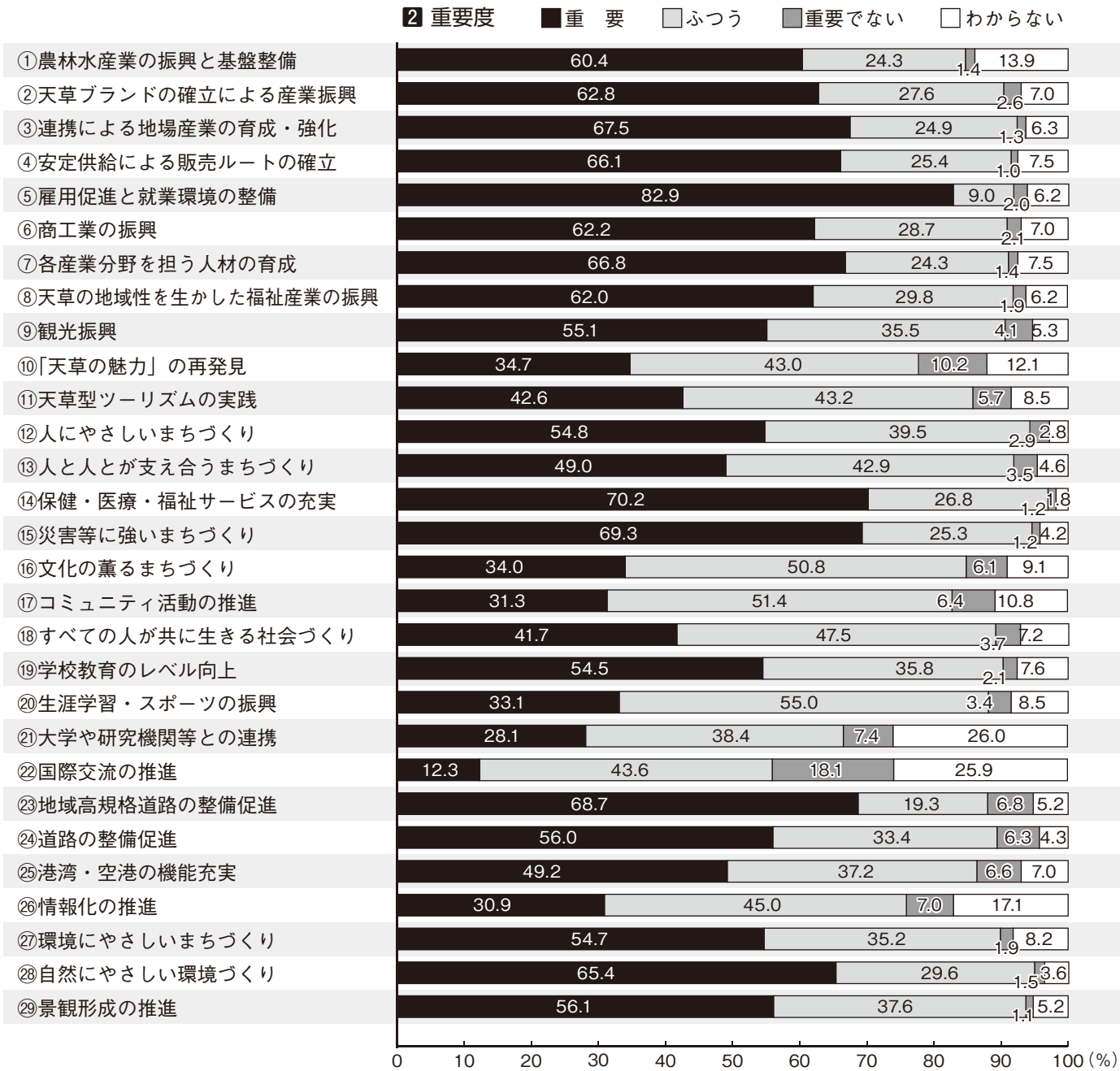
市政の満足度・重要度

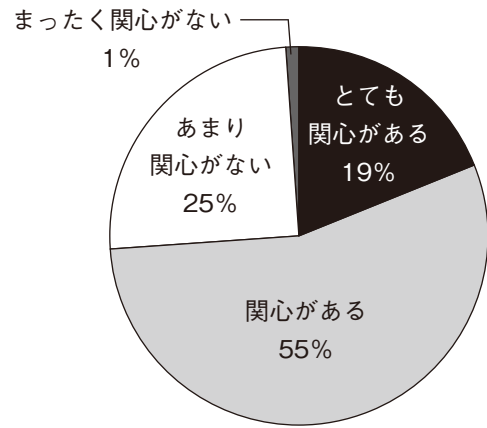
1 満足度

総合計画に掲げる市の政策29項目に対する満足度について調査しました。満足度の高い項目としては、「14保健・医療・福祉サービスの充実」が19・4%、「28自然にやさしい環境づくり」が18・8%、「2天草ブランドの確立による産業振興」が17・8%などが挙げられています。一方、不満度の高い項目としては、「5雇用促進と就業環境の整備」が62・1%、「6商工業の振興」が43・5%、「23地域高規格道路の整備促進」が43・4%などとなっています。

2 重要度

満足度と同様の29項目について、重要度をお尋ねしました。重要という回答が多かったのは、「5雇用促進と就業環境の整備」が82・9%、「14保健・医療・福祉サービスの充実」が70・2%、「15災害等に強いまちづくり」が69・3%、「23地域高規格道路の整備促進」が68・7%、「3連携による地場産業の育成・強化」が67・5%の順となっています。

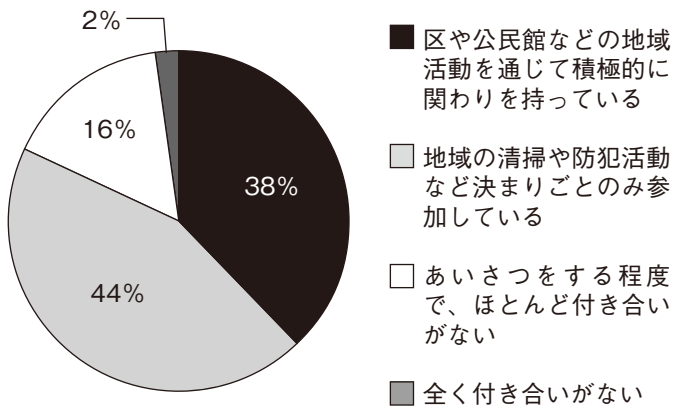
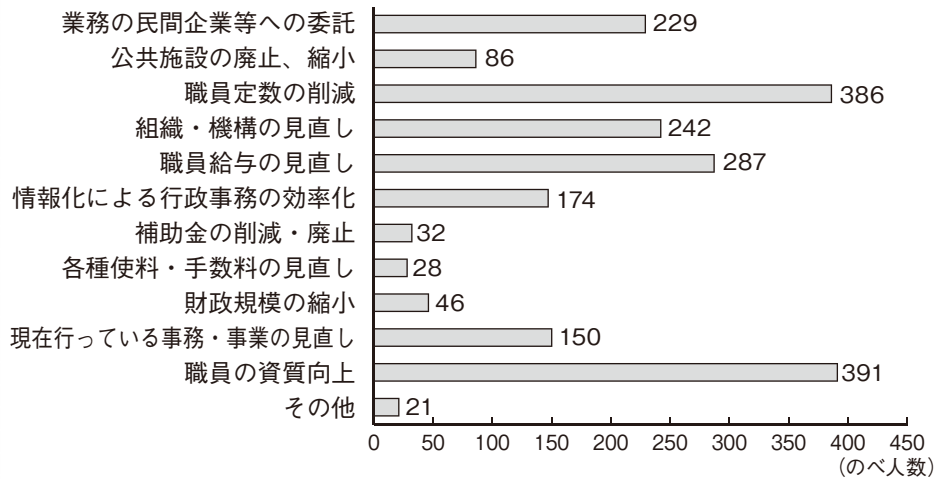




1 行政改革への関心の有無
「とても関心がある」「関心がある」と回答した人の割合はあわせて74%であり、市民の皆さんの行政改革への関心の高さがうかがわれます。

行政改革について

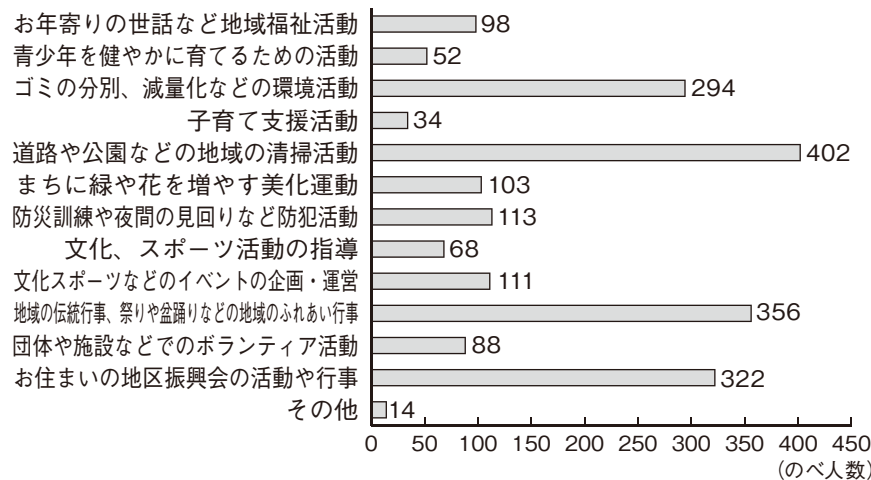
2 行政改革の重点事項（3項目まで回答可）
行政改革の取り組みとして重点を置くべき項目では、「職員の資質向上」が最も多く、次いで「職員定数の削減」「職員給与の見直し」「組織・機構の見直し」となっています。



1 近隣との関わり
「積極的に関わりを持っている」と回答した人が38%、「決まりごとのみ参加している」と回答した人が44%であり、8割以上の回答者が地域活動に関わりを持っています。

地域活動への参加

2 参加経験のある地域活動（複数回答可）
各種の地域活動のうち、地域の清掃活動やふれあい行事、地区振興会活動、環境活動に参加したことがありという回答の割合が特に高くなっています。

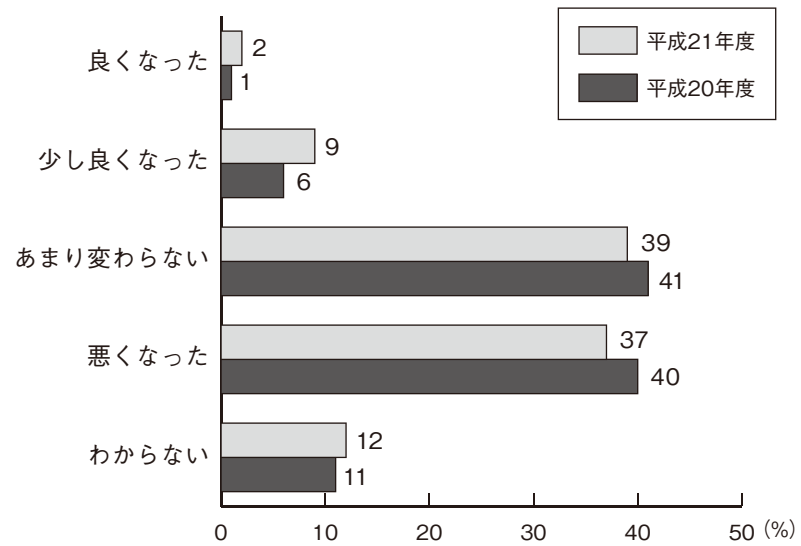


※「市政に関するアンケート」についての詳しいことは、本庁・企画課企画調整係 ☎ 11111 内線 1315 へお尋ねください。

市町合併の評価

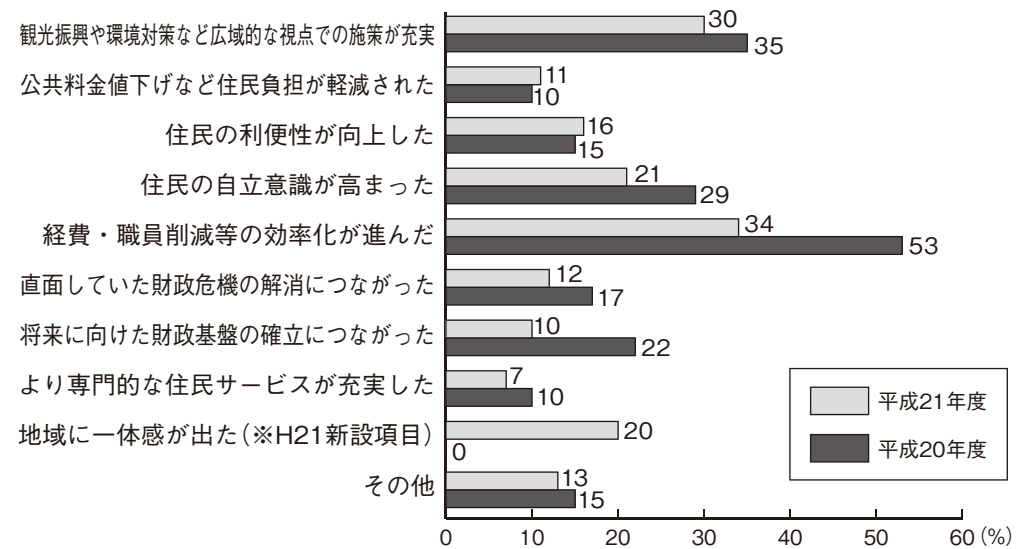
1 合併後の変化

市町合併による変化について、「あまり変わらない」が39%、「悪くなった」の回答が37%となっており、「良くなった」または「少し良くなった」の回答は11%となっています。また、平成20年度との比較では、「良くなった」「少し良くなった」と回答した割合が少し増加しています。



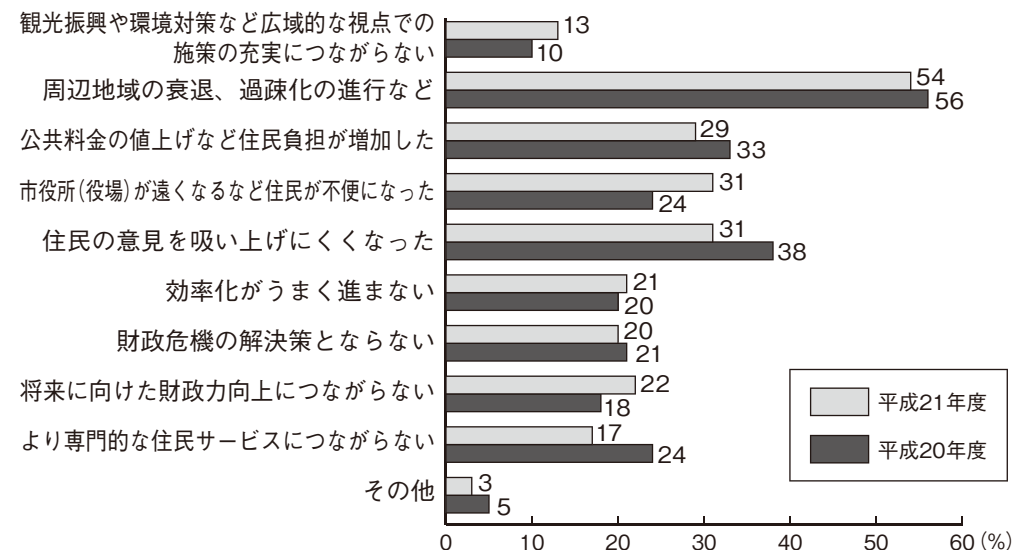
2 合併を評価している点（3項目まで回答可）

合併を評価している点として、「経費・職員削減等の効率化が進んだ」と「観光振興や環境対策など広域的な視点での施策が充実」と回答した割合が多く、次いで「住民の自立意識が高まった」「地域に一体感が出た」の項目が多くなっています。



3 合併を評価しない点（3項目まで回答可）

合併を評価しない点としては、「周辺地域の衰退、過疎化の進行など」の回答が最も多く、次いで「市役所（役場）が遠くなるなど住民が不便になった」「住民の意見を吸い上げにくくなった」「公共料金の値上げなど住民負担が増加した」などとなっています。



健康運動教室の魅力はココ！

「健康運動教室」は、医師のメディカルチェックでの安全管理や、市の健康運動指導士による科学的根拠に基づく運動プログラムを提供します。



魅力1

健康運動指導士・保健師・管理栄養士などの専門職が連携して教室を運営しています。

運動指導だけでなく、生活習慣病の予防・改善に運動・栄養・保健の各方面からサポートします。

魅力2

軽い腰痛・ひざ痛を持っていても、安全に効果的な運動が可能です。

皆さんの身体状況に応じた個別運動です。

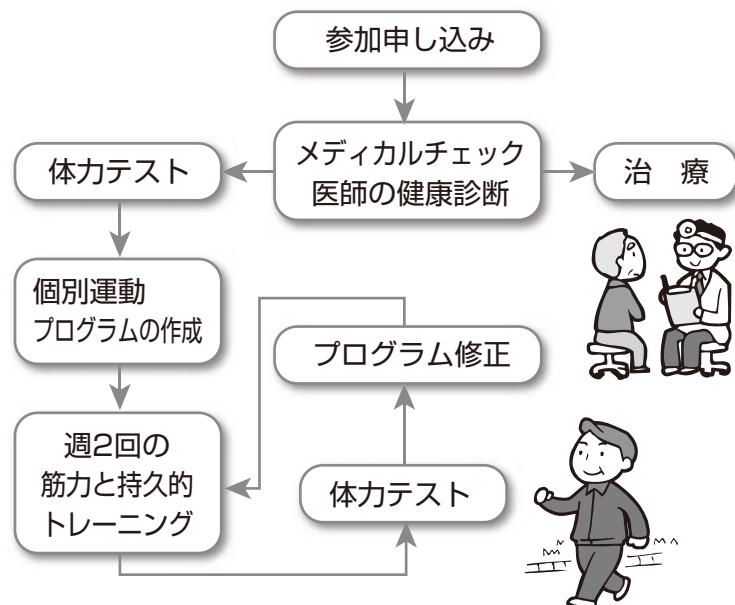


魅力3

高血圧や糖尿病などで通院している人も、参加しています。

高血圧・糖尿病・脂質異常症などさまざまな疾病で通院している人も、主治医から運動を勧められて参加しています。

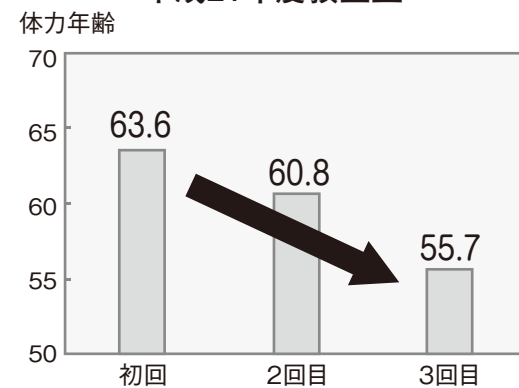
申し込み後の流れ



本渡・牛深地区で追加募集を予定しています。詳しいことは、5月15日号「市政だより天草」お知らせ版をご覧ください。

6カ月後の体力年齢の変化

平成21年度教室生



6カ月継続した61人の平均です（実年齢平均63.8歳）。

運動開始前は63.6歳でしたが、半年間で7.9歳の若返りが確認できました。

教室での参加者風景

■有明教室



▲いつも笑いが絶えません！

■中央教室(救命講習会)



▲心肺蘇生法を受講する参加者

自分が元気！みんなが笑顔の天草を目ざして

～天草市健康運動事業の紹介～

市では、平成18年4月から市の健康づくり事業として、生活習慣病の予防や介護状態になるのを防ぐことを目的に「天草市健康運動事業」を実施しており、現在、「健康運動教室」には40歳以上の市民の皆さん281人が参加しています。会場は市内に15カ所あり、23教室で週2回のトレーニングを行っています。

科学的根拠に基づき、個人の体にあった運動を実施

ストレッチ

内容：教室の最初と最後に、ストレッチを行います。筋肉や関節の柔軟性を高め、肩こりや腰痛の改善を行います。また、トレーニング後の疲労の回復を促します。



筋力トレーニング

内容：全身の筋力を向上させます。自宅でもできるように、器具を使わない筋力トレーニングを行います。



体組成計測

◆体脂肪率 ◆筋肉率 ◆内臓脂肪レベル ◆カラダ年齢などを測定。毎月の運動の成果が確認できます。

データ取込

歩数計

教室専用の歩数計です。この歩数計には、歩数のほか、教室での運動量や、体組成計測のデータを記録します。



データ送信

月に1～2回歩数計のデータをパソコンに取り込み、運動の実施状況や体組成測定記録などを管理することで、参加者はトレーニング方法についてのアドバイスを指導員から随時受けることができます。

『有酸素運動』と『筋力トレーニング』は、どちらか1つだけ行っても十分な効果が期待できません。いっしょに行うことにより効果が期待できます。

有酸素運動

内容：エアロバイクをこぐことにより、心臓や肺の働きを高め、体脂肪を減らす効果があります。自宅では、1日30分以上のウォーキングをすすめています。



健康運動教室に参加している皆さんの声

●質問内容●

- ①教室の参加期間はどのくらいですか？
- ②教室の雰囲気はどうですか？
- ③続けてみて効果はどうですか？

五和会場(7教室)



上田幸子さん

- ①6年目
- ②いつも和気あいあいといろんな会話も飛び出します。全員が健康維持のためにという強い意識を持っています。
- ③ひどい肩こりに悩んでいましたが、すっかり解消。1日1万歩を目ざしているため、3度の食事もおいしく夜は熟睡します。教室が生活スタイルになり、メリハリを与えストレス解消にもつながっています。



山下輝興さん

- ①1年目
- ②一押しは教室からの眺め！窓を開放すると、眼前に早崎海峡と島原半島を見下ろす場所の教室です。男性の比率が少なく肩身が狭いですが、適度のおしゃべりと同期生のまじめさが快適に継続できるポイントです。
- ③体重が減少し安定しています。そのため、動作が軽く体の重さを感じることもなく、体型が締まったと感じています。

- ①6年目
- ②全員が高齢になってきていますが、気持ちは若く！前向きでお互いに体得した知識、お料理の話と毎回楽しみにしています。
- ③60歳になり、これを機会にと体力テストを受けたら、なんと！78歳とのしらせに落ち込みました。すぐに教室に入り、現在では50歳代になりました。インストラクターによる指導のおかげだと感謝しています。



竹林多記子さん

河浦会場

- ①3年目
- ②運動前やエアロバイクをこぎながらのおしゃべりが良く、ウォーキングイベントにグループで参加するのも楽しいですね。
- ③運動を始めて1年が過ぎたころに成果（体重6kg・腹囲9cm減）があらわれ、農作業での持久力も出てきました。運動と食事のバランスが大事と悟りました。毎朝ラジオ体操、1日8,000歩を目標に歩き、暴飲暴食をしないように心がけています。



大里集さん

★大江会場(新規)

大江漁村環境改善総合センターで4月からスタートしました。

牛深会場

- ①2年目
- ②にぎやかで、毎回笑顔のたえない牛深教室です。心も身体も元気になれますよ。
- ③長年悩まされた“手足の冷え”が解消しました。



山越聡子さん

- ①8年目
- ②朝のあいさつから始まり、お互いを気づかいながら楽しく運動しています。
- ③体が硬かったのですが、だんだん柔軟性がでてきて、最近では「何かしよう！」と気力がわいてくるように感じます。



野中チサ子さん



本渡会場(3教室)

- ①2年目
- ②22人で楽しく行っています。
- ③夫はあまり積極的ではありませんでしたが、夫婦で参加しました。1年を経過した今、この健康運動教室に参加して本当に良かったと思っています。夫は75kg以上あった体重が73kgに減少！散歩のときにひざにつけていたサポーターが不要になりました！



平田憲二さん・和子さん

★ポルト会場(新規)

天草宝島国際交流会館ポルトで4月からスタートしました。

有明会場

- ①2年目
- ②同年代の人たちといっしょですから、話題が同じでおしゃべりも弾みます。
- ③小さいころから運動が不得意でしたが、58歳で初めて「自分のための運動」を行い、週2回の運動が定着しています。



益田知香子さん

栖本会場

- ①1年目
- ②運動中もみんな仲良く、なごやかに話をして笑いの輪が広がり楽しい時間を過ごしています。
- ③教室に入る前はお腹が2段でしたが、今は1段になりスリムになってよかったです。身体も心も快適です。皆さんの参加を心よりお待ちしております。



緒方京子さん

新和会場(5会場6教室)



船岡玲子さん

- ①7年目
- ②少人数の教室ですが、和気あいあいとし、笑顔がたえない、とってもすてきな教室です。
- ③足腰が強くなり、柔軟性もできました。体力がついたように感じます。



森下ソヨ子さん

- ①3年目
- ②元気あり、笑いあり、とても雰囲気のいい教室です。
- ③みなさんに元気をもらって、私自身もかぜをひかなくなりました。体も軽くなり、仲間もでき、いろいろな所へ出かけることが楽しみです。

- ①7年目
- ②時には、おしゃべりが弾むこともあり、皆さんで楽しい時間を過ごしています。長年いっしょにがんばってこれたのも仲間のおかげです。
- ③最近は近所の家まで歩くのも苦になりません。日常的に歩くようにしています。



寺平ミサエさん

- ①8年目
- ②毎週いろいろな話題を出し合い、楽しいせいか2時間の教室が短く感じます。
- ③体重が減少し、体調良好！生活スタイルが変わりました。ウォーキングの際、地域の防犯パトロールや1人暮らしの人への声かけにいかされています。



森 絹子さん・茂三さん

「健康運動教室」についての詳しいことは、
天草中央保健福祉センター ☎243737へお尋ねを。

ありがとう

わが母校

佐伊津中学校



閉校式後に懐かしい写真を見る
卒業生の皆さん

昭和24年、佐伊津中学校に入学する。当時はまだ校舎もなく、小学校の東端1階と2階、旧公民館を借りて勉強をしていた。公民館には廊下の外窓がなく、雨の日には走って移動をしていた。24年に全校生で瓦運びをした記憶がある。今の信号機の近くに瓦工場があり、校舎まで瓦運びをはじめ、重くていつの間にか、向かい合いに並び手渡しをしていた。1回目の同窓会で瓦運びの話が出て、誰か

の提案で会名を「瓦会」とする。昭和25年、2年の時、新校舎に移転する。校舎の前は塩田の跡がそのまま放置されていた。鉄とツルハシでセメント枠を掘り起こし、東の端まで運ぶなど、整地作業がほとんど毎日続いた。先輩の3年生が兵舎前の蘇鉄を掘り下げ、玄関前まで運んで、植える時は私たちも手伝い、美術の先生の指導で植えつける。60年前のことを思い出して書きました。



「瓦会」

昭和26年度卒業生

山崎

董

本町中学校



ハンドボールとの出会い

平成21年度卒業生

岡部 有哉



閉校式で閉校記念碑の除幕を行うようす

「ビー」とホイッスルが鳴り響き、僕の中の学校生活最後のハンドボールの試合が終わった。無我夢中で戦ってきたので、気がつくとも50分という時間があっという間に過ぎていた。平成21年7月25日、天草工業高校で行われた県中学校総合体育大会の2回戦で、僕たち本町中は全国3位の実績がある玉名中と対戦し、13対25で負けた。僕は、この時に経験したことのない程の悔しさを感じた。

部活動は、楽しいことよりも辛く苦しいことの方が多かった。しかし、先生やコーチの熱心な指導と練習している部員の姿を見て、先輩たちの果たせなかった九州大会出場を目ざすようになっていた。僕の中学校生活は魚住先生への憧れからハンドボールと出会い、学んだことが大きい。そして、何よりもその楽しさを教えてもらったことである。帰る母校のない最後の卒業生だが、心の中には本町中学校がしっかりと刻まれている。

佐伊津中学校



本町中学校



本渡中学校



昭和22年に開校した本渡中学校、佐伊津中学校、本町中学校が統合により、3月31日で63年の歴史に幕を閉じ、これまでに3校あわせて27,156人の卒業生が学舎を巣立っていきました。

そこで、部活、生徒会の思い出、そして校舎の瓦運びの思い出など、3校の卒業生の皆さんに思い出をつづっていただきました。



本中がくれた、私の宝物

平成元年度卒業生

井上 美奈

本渡中学校



閉校式で校歌を合唱する生徒たち

本渡中学校を卒業して20年、久しぶりに卒業アルバムを開いてみました。そこに、私の大切な仲間の笑顔が輝いていました。思い起こせば、時代が昭和から平成へと移り変わる大きな節目のときで、私たちは平成となって初年度の卒業生でした。

学校での思い出は、友だちどうしで外出する際、今では当たり前のようになっている私服着用を当時は禁止されていましたので、生徒会を中心に先生方と話し合いを重ね、

本中がくれた、私の宝物

私服での外出許可をはじめ、数々の規則を改正することができたことです。その時の達成感、今でも忘れられません。

うれしい時や悲しい時、いつもそばにいてくれた仲間。私にとってかけがえのない財産であり、宝物です。その仲間と出会えた本渡中学校が閉校するのはとてもさみしいことですが、心の中には永遠に残ることでしょう。

ありがとう。そしてさようなら。白はとよ、永遠に……。



地域の期待にこたえる

3年 荒木 原弥^{げんや}

暖かい日差しを浴び、木々も芽吹くこのよき日に、真っ白に美しく輝くこの新本渡中学校が開校いたしました。この1年間私たち生徒のだけれど、この校舎の完成を心待ちにし、新しい学校生活に胸を膨らませておりました。

特に私たち3年生にとりましては、中学校生活最後の1年間を真新しい校舎で学べること、新本渡中学校の第一期卒業生となれること、どのことにおいても胸おどることばかりで、このようなすばらしい環境を与えてくださったことに、感謝の気持ちでいっぱいです。私たち生徒一同、このような恵まれた環境で学校生活がはじまる一方で、新しい学校の新しい校風や伝統づくりにおきましても心を引きしめています。私たちは、佐伊津、本町、本渡とそれぞれの中学校で別々に学ぶとともにすばらしい伝統を引き継ぎ、この中学校に来ました。

また、これまでお世話になった地域の方々の期待も大きいことでしょう。そんな地域の期待にこたえられるような学校づくりをし、これから、私たちはそれぞれの学校のよさを融合させ、すばらしいものとして新しく出発する決意をしています。

そして、みんなで力を合わせ、さらに充実した学校生活を送ることをここに誓い、新しい学校の歴史の第1ページをすばらしいものとするよう、生徒一同心をひとつにがんばります。

新しい歴史の第一歩



真新しい校舎に登校する生徒たち

本渡中学校開校

本渡町広瀬に建設していた「本渡中学校」が完成し、4月1日に開校しました。本渡中学校は、本渡・佐伊津・本町の3つの学校を統合する中学校で25クラス、819人の生徒でスタートしました。今号では、新しい学校の概要についてお知らせします。

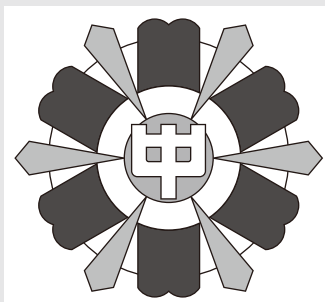
広がる未来に向けた 教育環境の整備

この学校の特色は、太陽光発電施設の設置や屋上の緑化など、地球にやさしい整備を進めることにより、生徒の環境教育にも取り組めるようにしたことです。そして、校舎内部は木材をふんだんに使い、バリアフリーに配慮した温かみのある居住空間を確立。また、学習方法や指導方法の多様化に対応できるよう、多くの機能を持つ多目的スペースを設置しました。このように、天草の豊かな自然に溶け込む校舎に仕上がりました。

太陽光発電による 電力の確保

校舎の屋根に、1,563枚の太陽光パネルを設置し発電を行います。この太陽光パネルは、薄くて衝撃性に強い、屋根材一体型のものを使用しており、最大発電容量は50キロワット。最大発電時には、普通教室で24室程度の電力をまかなうことができます。発電中の状況は、環境への意識向上を目的に1階の多目的ホールに設置している、液晶モニターで見ることが出来ます。

本渡中学校の校章



「本」という字をモチーフに花を作り3校の融合を願い、縦棒は勉学に必要なペンをイメージしている。

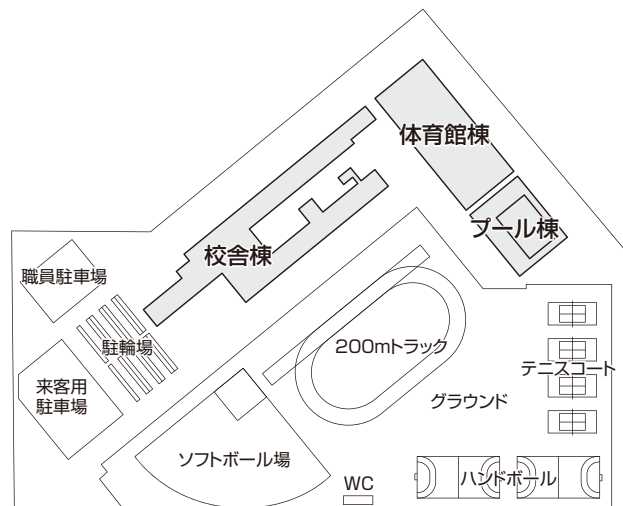


【補助事業名】

- 平成20年度太陽光発電新技術等フィールドテスト事業（NEDO技術開発機構）
- 平成21年度九州グリーン電力基金助成事業（〔財〕九州地域産業活性化センター）

本渡中学校概要

- 所在地／天草市本渡町広瀬5番地110
- 連絡先／電話☎4340・FAX☎4241
- 敷地面積／53,979㎡
- 校舎棟／鉄筋コンクリート3階建て
- 体育館棟／鉄筋コンクリート・一部鉄骨2階建て
- 運動場／23,691㎡
・200mトラック・ソフトボール場1面・ハンドボールコート2面・テニスコート4面
- プール／FRP製 25m×8コース
- その他／太陽光発電施設・中庭・駐車場・駐輪場





▲楽しそうにオリーブを
植える子どもたち

宝島の わだい

オリーブ植樹祭

五和

オリーブの島づくりを目ざして

4月4日、御領で『“日本の宝島・天草”オリーブ植樹祭』が開かれ、蒲島郁夫・熊本県知事をはじめ関係者など約200人が参加しました。これは㈱九電工が、地元や県、市などと連携して取り組む“オリーブに関する調査・研究のためのパイロット（試験）事業”の成功を祈念して実施。式典では、同社の橋田紘一代表取締役社長が「地域の活性化にもつなげたい」とあいさつ。その後、地元の小学生などが参加してオリーブの本約100本の植樹を行いました。この事業では、今回約2ヘクタールに1,600本を植栽。平成24年度までに約6,700本が植えられる計画です。

教職員送別式

御所浦

感謝を込めて涙と笑顔でお見送り

3月30日、横浦島から転勤する教職員8人の引っ越しと見送りがあり、地区住民80人が参加しました。この島では、小・中学校の児童・生徒や地区住民が、お世話になった教職員の引っ越しの手伝いをした後、港で見送りをするのが恒例。見送りでは、桟橋いっぱいの人だかりができ、船に乗り込んだ教職員にはたくさんの紙テープが渡されるなど、みんなで別れを惜しんでいました。御所浦北中学校に4年間勤務した中原裕大事務職員は、「島ならではの行事などがとても楽しかった。毎日がいい思い出でした」と、涙をこらえながら笑顔で話していました。



▲別れを惜しみ盛んに手を振る教職員たち

高校3年生を送る会

本渡

ふるさとの味と思いをかみしめる

下浦町金焼の“ふるさと薬膳・^{なぎ}風”（レストラン）が3月21日、同地区在住の高校3年生4人と生徒の小学校時代の恩師を招いて料理をふるまいました。これは同店が、就職や進学で地元を離れる高校生に、故郷の味を忘れずに都会でも健康的な食生活を送ってもらおうと実施。メニューは、金焼でとれた食材を使った天ぷらや煮しめ、ピーナッツ豆腐など計11品。生徒たちは、思い出話に花を咲かせながら、おいしい料理をほおばっていました。福岡の大学に進学する渡邊元樹^{もとぎ}さんは、「悲しいとき、苦しいとき、この味を思い出してがんばります」と話していました。



▲おいしい料理に会話も弾む恩師と生徒

ふるさと応援寄附金



たくさんの応援を
いただきました

●寄附の状況をお知らせします

「天草市ふるさと応援寄附金」は平成20年6月に始まり、同事業への取り組みに対するご理解とご協力により、多くの応援をいただくことができました。平成21年度に寄せられた寄附金は、全国各地から**113人（116件）・697万4,000円**の寄附をいただいています（詳細は右表をご覧ください）。

寄附をいただきました皆さんはもとより、応援寄附金のPRをしていただいた市民の皆さんに心から感謝申し上げます。

●引き続き“天草ファン”募集中！

天草市は、藍より青い海や緑深い山々など豊かな自然に恵まれており、市民が安心して快適に生活できる環境づくりや産業の振興と地域間交流を図りながら、地域資源をいかしたまちづくりに取り組んでいます。

これからも、『日本の宝島“天草”』づくりへの支援として、全国各地でご活躍の皆さんからの「天草市ふるさと応援寄附金」へのご協力を引き続きお願いします。また、市民の皆さんには、この取り組みをより多くの人に知ってもらうために、市外にお住まいの親類や知人の皆さんなどへのPRにご協力をお願いします。

寄附の手続きについては、事前の申し込みが必要です。申込書は、直接電話で本庁・財政課へ請求していただくか、市のホームページから取得していただくことになります。

◆メニュー別の寄附件数と金額

1 “天草の宝”『地域コミュニティづくり』 ・10のまちづくり協議会と51地区振興会への支援・補助……………	60件・510万円
2 “天草の宝”『安心して元気に暮らせる環境づくり』 ・高齢者などの体力・健康づくり事業や、安心して子どもを生み育てる環境づくり事業など……………	8件・33万5,000円
3 “天草の宝”『将来を担う子どもづくり』 ・少人数学級の推進や特別支援学級への補助教員の設置事業、学校図書館の活性化事業など……………	10件・39万円
4 “天草の宝”『若者が安心して働ける産業づくり』 ・企業誘致促進事業や担い手育成支援事業など……………	9件・40万5,000円
5 “天草の宝”『拠点づくり』 ・市役所本庁舎の建設事業（平成27年度をめぐりに建設を予定）……………	5件・17万円
6 市長おまかせコース ・特に事業の指定がない場合は、市長が必要と認める事業に活用……………	24件・57万4,000円

◆地方別の寄附人数と金額

地 方 名	人数	金 額
関 東	48人	380万7,000円
中 部	5人	7万5,000円
近 畿	28人	77万9,000円
中 国	1人	1万円
四 国	1人	5万円
九州（熊本県内を除く）	16人	127万円
熊本県内	14人	98万3,000円

㊦㊧㊨㊩ ふるさと納税制度とは

ふるさと納税制度とは、「ふるさとを応援したい」「ふるさとの発展に貢献したい」と思われる皆さんが、出身地などの地方自治体（都道府県・市区町村）に寄附をした場合に、寄附金の5,000円を超える部分について、居住地の住民税（所得割）のおおむね1割を限度に、所得税と翌年度に課税される住民税から税額控除されるものです（右イメージ参照）。

なお、法人が寄附をした場合は、法人税を算定される際に、寄附金の全額を損金に算入できます。

◆ふるさと納税制度のイメージ



【問い合わせ先】本庁・財政課財政係 ☎1111内線1363



▲末續選手の指導を受ける高校生



▲銅メダルを手にオリンピックの感動を話す末續選手

鬼海ヶ浦トンネル開通式

天草

待望のトンネルが完成

3月27日、県が整備を進めている国道389号の改良区間の一部である鬼海ヶ浦トンネルが完成し、県や地元関係者などが参加して開通式が行われました。式典では、トンネルに掲げられた銘板の文字を書いた、天草高校天草西校・書道部の生徒に花束が贈られたほか、開通を記念して関係者や鬼海地区に住む小学生4人がテープカットを実施。その後、地区住民など約200人が、片側1車線、総延長772mの同トンネルの通り初めを行い、開通を祝いました。



▲開通を記念してテープカット

米焼酎「栖本太鼓の響」販売中

栖本

栖本オリジナル商品第7弾です！

栖本まちづくり協議会では、4月6日から栖本オリジナル商品の第7弾として、米焼酎“栖本太鼓の響”を本数限定で販売しています。この商品は、同協議会が地元産のコシヒカリ（1等米とステビア草を肥料にして栽培したステビア米をブレンドしたもの）を使用しており、くせがなく飲み口のやわらかい焼酎に仕上がりました。現在、栖本町内の商店や酒店で販売しています。詳細は、同協議会事務局（栖本支所・総務振興課内）☎03111へお尋ねください。



▲1,800mlが2,350円、720mlが1,500円（箱は別売り）

すえつぐ

末續慎吾陸上教室

本渡

オリンピック銅メダリストの末續慎吾さんがやってきた！

4月11日、「末續慎吾選手によるトークショー・実技指導」が天草市民センターなどで開かれました。これは、本渡運動公園陸上競技場の全天候走路の全面改修を記念し、日本の陸上競技短距離界の第一人者であるミズノ（株）所属の末續慎吾選手を招いたもの。「陸上競技に情熱を注ぎ己や競技に勝つには！」と題してトークショーが行われ、陸上を始めたきっかけや出場した大会でのエピソードなどを話され、約200人の聴衆は熱心に聞き入っていました。また、北京オリンピック男子400mリレーで獲得した銅メダルも披露。その後、同競技場で実施された実技指導では、参加した小・中学生などが末續選手直伝の基本練習に真剣に取り組んでいました。

うまか天草ん家庭料理大集合レシピ集発行

五和

天草の食文化を1冊に！

4月9日、五和ツーリズムネットワークから「うまか天草ん家庭料理レシピ集」が発行されました。このレシピ集は、2月14日に実施した“うまか天草ん家庭料理大集合”に出品された家庭料理79品の作り方や、長崎県などから提供された料理を掲載。また、プロのイタリア料理人による、地元産の魚介類や野菜、調味料などを使ったスパゲティー、トマト煮などの調理方法を収録するなど、天草の食材の良さをあらためて認識できる内容になっています。1冊300円で販売。購入方法などの詳細は、五和支所・総務振興課（☎03111）へお尋ねください。



▲レシピ集に掲載されている“かぼちゃとタコの味噌あえ”

◀できあがったレシピ集



▲影絵の説明を熱心に聞く子どもたち

影絵劇鑑賞会

倉岳

春休みの思い出に影絵や夜桜を楽しむ

3月30日、浦公民館で「影絵劇の鑑賞会」が行われました。これは、浦地区振興会・青少年育成部会が、子どもたちが心豊かに育ってほしいとの思いで初めて実施したもの。影絵を披露したのは、上天草市龍ヶ岳町・樋島地区の中学生9人で、演題は老婆とキツネとのふれあいを描いた“おこん浄瑠璃”^{ひのしま}。会場を訪れた子どもたちなど120人は、影絵の素朴な動きと心温まる物語に引き込まれていました。

このほか、参加者は同部会が用意した手打ちそばやカレーなどを堪能したり、公民館の外に植えられているライトアップされた夜桜の幻想的な美しさを満喫していました。

「タコ鯛焼き」好評販売中

有明

お腹の中は天草ありあけのタコですタイ！

リップランド物産館では、4月1日から有明特産のタコを使った“タコ鯛焼き”を販売しています。この商品は、九州新幹線の全線開業を前に、同じくタコで有名な兵庫県明石市と交流したのを記念して、地元の市商工会関係者が考案し商品化されたもの。鯛焼きの中には、あんこの代わりにタコときざんだキャベツをソースで味付けをした、たこ焼き風の具が詰まっています。1個200円で同館のみの販売。今後は、すりおろしたジャガイモでタコを包んだ「タコ汁」も発売される予定です。皆さん、ぜひご賞味ください。



▲味もお腹も満足の“タコ鯛焼”

天草空港ランウェイウォークラリー大会

初めて歩く滑走路に感激！

3月22日、「天草空港ランウェイウォークラリー大会」が天草空港で行われ、家族連れなど355人が参加しました。これは、天草空港管理事務所などが、同空港の開港10周年を記念して実施。滑走路内をウォークラリーのコースとして開放するのは初めて。この日は天候に恵まれ、参加者は全長1kmの滑走路を含む約3kmのコースを自分のペースで満喫。ふだんは入ることができないとあって、歩き心地を確かめたり、写真撮影をしたりして楽しんでいました。



▲同空港キャラクターの“天空流くん”と楽しく歩く子どもたち



▲完成を記念してテープカット

天草市営鬼池港フェリーターミナル落成式

新しいフェリーターミナルの完成を祝う

3月31日、「天草市営鬼池港フェリーターミナル落成式」が同所で開かれ、関係者など40人が参加しました。この施設は、観光振興や利用者の利便性の向上を目的に市が建設。広々とした待合所のほか、多目的トイレや交流広場などが新たに設けられました。式典では、安田市長が「年間約44万人が利用する海上交通の大動脈が、さらに活気づくことを期待している」とあいさつ。その後、関係者が落成を記念してテープカットを行い、完成を祝いました。

天草戦没者追悼式

戦没者を慰霊し、世界の恒久平和を願う

4月3日、戦争で尊い命をなくされた天草島内の戦没者の霊を慰めるために、上天草市・天草郡苓北町・天草市の2市1町合同による「第5回天草戦没者追悼式」が天草市民センターでしめやかに行われました。

追悼式には、戦没者の遺族など約400人が参列。戦没者之霊位に献花を行い、亡くなられた人たちの冥福をお祈りするとともに、二度と悲しみの歴史を繰り返すことのないよう、世界の恒久平和を祈念しました。



▲追悼のことばを述べられる
松原二四郎・戦没者遺族天草連合代表



▲写真左から浦上看護師、岡村医師、溝口主事

ハイチ大地震救援活動

市出身の3人がハイチ共和国で救援活動

中央アメリカにあるハイチ共和国で発生した地震による被災者救援のため、熊本赤十字病院から現地に派遣されていた5人のうち、市出身の岡村直樹医師（佐伊津町）が2月21日、浦上友美看護師（浄南町）と溝口幸介主事（河浦町河浦）が3月28日に、現地での救援活動を終えて無事帰国。3人は、現地で医療・看護・事務の業務にそれぞれ約1カ月間従事。帰国した岡村医師は「ハイチが復興を遂げるためには、長期的な支援が必要」と話していました。

倉岳ウォークラリー

倉岳

咲き誇る桜と雄大な眺めを満喫

満開の桜を楽しみながら、天草の最高峰“倉岳”の山頂を目ざす「倉岳ウォークラリー」が4月4日、倉岳小学校をスタート・ゴールに開催され、市内外から320人が参加しました。コースは、棚底城跡や防風石垣群などを巡る8.5kmで、途中にはクイズコーナーも設置。また、ゴールの山頂付近では、地元でとれたイノシシを使ったシシ汁がふるまわれたほか、お楽しみ抽選会なども行われ、参加者はさわやかな春風と山頂から望む雄大な眺めを満喫しました。



▲満開の桜並木を歩く参加者



▲チラシを配布しながら交通安全を呼びかける
牛深高校郷土芸能部の生徒

春の全国交通安全運動推進大会

牛深

交通ルールを守って、事故を無くそう！

4月6日、春の全国交通安全運動推進大会（牛深・河浦地区）が牛深総合体育館で開催され、15団体180人が参加しました。式典では、同地区内の小学校に通う新入学児童に、黄色い帽子やランドセルカバーが贈呈されたほか、牛深高校郷土芸能部による牛深ハイヤ踊りが披露されました。また、式典終了後には、参加者や同校の生徒たちが、通行する車に交通事故防止を啓発するチラシを配布しながら、交通安全を呼びかけました。

宿泊施設“ひだまり館”オープン

新和

合宿するなら新和町で！！

新和町では、地域活性化に向けたまちづくりの一環として、現有施設の有効利用と地域の特性をいかして、中学・高校や実業団などを対象にした、スポーツ合宿などの誘致に取り組んでいます。4月1日には、既存施設を活用して50人規模の宿泊者を受け入れることができる宿泊施設“ひだまり館”がオープン。また、周辺にはトレーニングができる屋内練習施設なども整備されています。合宿に関するお問い合わせは、新和支所・産業建設課☎④2111へ。



▲利用者待つ宿泊施設“ひだまり館”



▲咲き誇る桜の下で
グラウンドゴルフをする参加者

一町田地区さくらまつり&青少年音楽祭

河浦

桜咲くうらかな春にスポーツや演奏に親しむ

4月3日、一町田公民館周辺で「一町田地区さくらまつり」が開かれました。これは、同地区振興会が、桜の見ごろを迎える時期にあわせて開催しているもの。晴天に恵まれたこの日は、グラウンドゴルフや生け花・レザークラフト（革細工）の展示、バザーなどが行われ、参加した地区住民など250人はうらかな春のひとときを満喫。また、青少年音楽祭もあわせて実施され、地元の小学生や高校生によるピアノやクラリネットの演奏に聞き入っていました。

宮地岳の自然や地域に感謝して

宮地岳小学校（宮地岳町）
6年 川峯大和

ぼくたちが住んでいる宮地岳町は、空気がおいしく自然が豊かでおいしいお米がとれるところです。全校児童は15人で少ないですが、“かなた班”でのたてわり班活動を毎日がんばっています。朝の活動、清掃活動、学校行事など1年生から6年生まで1人ひとりが大きな役割を果たしています。また、田植えや炭焼き、茶道教室、通学合宿などの貴重な体験で、地域の人たちとふれ合う機会がたくさんあり、ぼくたちを温かく見守ってくださっています。自然や地域の人たちに感謝し、ふるさと宮地岳を大事にしていきたいと思えます。そして、この1年みんなの笑顔がふれる学校にしたいです。



地域の人と“炭焼き体験”をする児童

ぼくのわたしの学校部活自慢



竹とんぼ作りを熱心に見つめる児童たち

地域の人たちのあたたかさにつれて

倉岳小学校（倉岳町）
6年 中村美有紀

倉岳小学校では、昨年、地域の人たちとの交流会をしました。これは、高学年が計画し、全校生で行った行事です。お手玉コーナーでは、おばちゃんから、お手玉のぬい方を教えてもらいました。竹とんぼコーナーでは、おじいちゃんが、大きな竹から竹とんぼを作り、それを高く飛ばすやり方を教えてくださいました。折り紙コーナーでは、私たち高学年が、低学年でも簡単に作れる折り方を教えました。また、地域の人たちが、広告用紙などをあみこんで作ったかごを持ってきてくださり、おどろきました。交流会を通して、昔の遊びの楽しさを知り、地域の人たちのあたたかさにつれることができました。これからも続けていきたいです。

亀場地区振興会では、『安全で、心のかよいあう、自然豊かなまちづくり』を目標に、次の活動を行っています。まず、明るいあいさつ日本一運動と題して、亀場町内の通称「日本一のあいさつ通り」（国道266号線沿い）を中心に、毎月2回あいさつ運動を実施し、笑顔あふれるまちづくりを目指しています。次に、熊野坐神社や食場神社などの文化財や名所を満載した、宝島マップの作成や現地の案内看板設置など、地域の情報発信を進めています。また、12月には、稜南中学校美術部の協力を得て、亀場小学校前にイルミネーションを設置し、行き交う人たちの目を楽しめています。このほかにも、七夕会やお雛様会など



▲“あいさつ運動”のようす

地域づくりコーナー

人が動く
地域が動く
天草が動く

すべての人が安心して暮らせる
まちを目指して

亀場地区振興会（会長 高村 巧）

季節にちなんだ催しを行い、子どもたちの思い出づくりや青少年の健全育成に取り組んでいます。これからの、多くの町民が参加できる行事を企画するとともに、世代間交流や住民の交流を図りながら、すべての人が安心して暮らせる環境づくりに取り組んでいきたいと思っています。

宝島の健康

よけすけ

吉野郁郎 さん
（五和町手野・84歳）



◆毎日の楽しみは？

毎朝新聞を読み、コラム欄の記事を日記代わりに記録することです。平成7年から毎日欠かさず行っています。また、天気の良い日には、庭のツツジや花の手入れを行っています。

◆健康の秘けつは？

五和町合唱団「のいちご」の指揮者をしていて、週1回の練習に皆さんそろって参加していただける時が、1番うれしいです。そのことが、私の健康につながっていると思います。

火遊びは絶対にしません！

赤崎保育所（有明町）

赤崎保育所（久良サツ子所長・全園児23人）では、「元気でがんばる子ども・思いやりがあり仲良く遊べる子ども・何事も意欲的に取り組む子ども・好き嫌いせず何でも食べる子ども」を目指しています。赤崎幼年消防クラブでの取り組みは伝統ある活動の1つで“防火パレード”や“防火もちつき”など、年間を通じて地域住民に『防火』の大切さを呼びかけています。また、恵まれた自然環境の中、子どもたちは広い園庭をかけまわったり、夏にはプールで水遊びをしたりして元気いっぱいです。今後も、地域住民との交流や縦割りクラスでの活動を通じて、家庭的な雰囲気の中で心身ともに健康な子どもに育ってほしいと思います。



みんなで敬礼!!! かつこよくきまったかな？



船元隆成 さん（新和町大宮地・22歳）

昨年から福祉施設で介護の仕事をしています。職場では、利用者の皆さんの笑顔を励みにしながらがんばっています。趣味はソフトボールとミニバレー。家が海の近くにあるので魚釣りもしています。これからは、周りの人に信頼されるような人間になりたいと思っています。



桜の木に見守られハイポーズ！

大きなおおきな桜の木の下で

佐伊津保育所（佐伊津町）

佐伊津保育所（松岡妙子所長・全園児41人）の広い園庭には、大きな桜の木があり、長い間子どもたちの成長を見守っています。3月の卒園式では、満開の桜が小学校に続く坂道の桜並木と重なり、夢のように美しい風景でした。園では毎年、桜の木の前で記念写真を撮っています。前日の雨で花びらが散ってしまいましたが、枝を広げて新入園児を迎える姿は、まるで子どもたちを慈しんでいるかのようです。すくすくと育つ子どもたちを見守りながら、春には美しい花を咲かせ、夏は涼しい木陰を作り、次の春のために冬の寒さを耐える桜の木。子どもたちには、この桜の木のようにたくましく育ってほしいと願っています。





写真①

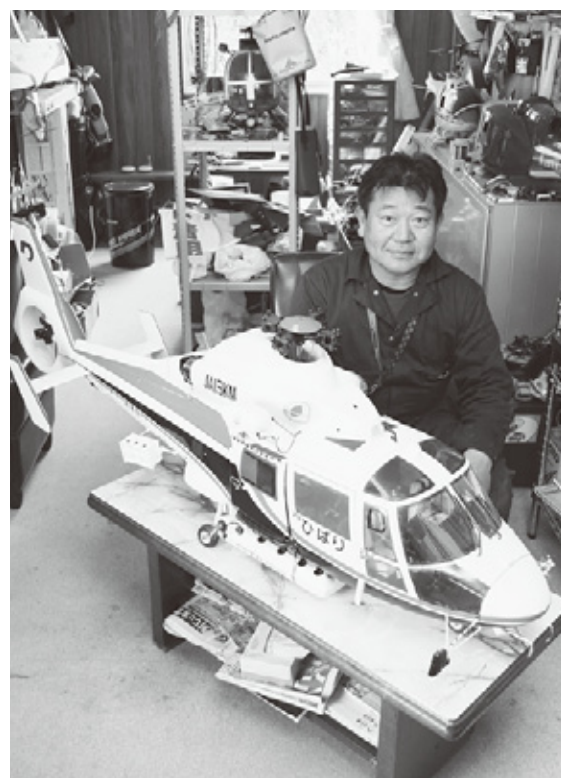


写真②

写真①・②ともに志柿町の島山付近を撮影した写真です。写真①は昭和29年ごろ、当時の本渡商工会が“夏まつり宣伝隊”を仕立ててパレードをしているようす。宣伝トラックが土煙をあげながら走っています。写真中央にあるのが“島山”で、通称グリーンハウスと呼ばれた洋館がありました。一方、写真②は平成19年の夏に撮影されたものです。約60年の歳月で自動車も道路も、そして島山も大きく変わったことがうかがえます。

※天草アーカイブズ(五和支所内)では、各種収蔵資料を市民の皆さんに公開しています。資料の閲覧方法などの詳細は、同所☎5515へお尋ねください。

天草アーカイブズ収蔵 思い出写真館 60年の歳月で変わる風景



煌めく人々たち

家業をいかした精巧なラジコンヘリ

あいづ ひろと
合津 浩人 さん (河浦町河浦・49歳)

河浦町に住む合津浩人さんは、鍍金塗装業を兄の伸弘さんとともに営んでいる。もともと、浩人さんは車やバイクいじりをするのが好きで、20歳のときに開業した。この仕事は、事故にあった車を取り扱うことが多く、元どおり修理するための高い技術が求められるとともに、客のニーズにあわせるのがとても大変である。中には車両保険に入っておらず、修理の依頼をされ、とても困ることなど苦労も多い。

しかし、「納期より早く修理を終わらせてお客さんに納品ができ、感謝の言葉をいただいたときは、本当にうれしい」と語る。そんな中、浩人さんは仕事の合間に趣味で『ラジコンヘリ』を製作している。たまたま熊本市内の河川敷で飛んでいた『ラジコンヘリ』を見て、「自分も作ってみたい」と思ったのがきっかけ。写真やカタログなどを見ながら製作していくうちに、より実物に近づけようと空き缶やおもちゃのカプセルなども再利用するようになった。主な作品として、県警ヘリ「おおあそ」や写真にある県防災ヘリ「ひばり」がある。「ひばり」は全長165cmもあり、精巧なつくりで完成させるのに約4年もかかった。また、専門雑誌に掲載され、県防災消防航空隊からも絶賛を受けた。

気さくで明るい性格の浩人さん。だからこそ、お客さんとの信頼関係も厚い。「経営は大変だけど、仕事も趣味も楽しくやっていきたい」と語り、今日も依頼を受けた車の修理作業に真剣に取り組んでいる。

ハッピーバースデー HAPPY BIRTHDAY 今日で1歳になります



りょうせい
坂田 陵晟くん
志柿町
父・功介さん
母・愛さん

悠斗兄ちゃん大スキ♡たくさん遊ぼうね☆元気に育ってね♡



おとほ
友澤 音芭ちゃん
牛深町
父・誠さん
母・由香さん

まほ姉ちゃん、こうや兄ちゃん、これからもいっぱい遊んでね♡



ゆうま
川原 優真くん
栖本町馬場
父・良介さん
母・美鈴さん

6月に妹が産まれてお兄ちゃんになるよ。



みそら
砂岡 美空ちゃん
有明町大浦
父・一良さん
母・貴子さん

にっこり笑顔で家族のムードメーカーです。食べざかりな女の子♡



りょうたろう
野島 稜太郎くん
本町下河内
父・章英さん
母・佳代子さん

じいちゃん、ばあちゃん、いつも遊んでくれてありがとうね♡



とちや
田中 ころこちゃん
亀場町食場
父・俊彰さん
母・真寿美さん

家族のみんな、保育園の先生、たくさん遊んでくれてありがとう！



えんり
吉川 燕里くん
牛深町
父・智範さん
母・由里奈さん

じいちゃん、ばあちゃん、いつもありがとう♡元気に育ってネ♡



ちや
中島 みのりちゃん
御所浦町御所浦
父・千春さん
母・春菜さん

お誕生日おめでとう！たくましく元気でびのびと大きくな～れ！



とちや
山口 智也くん
船之尾町
父・智史さん
母・幸子さん

大スキ♡じいじ、ばあばあ、いつもありがとう♡

6月で満1歳になるお子さんを募集します！

●応募期限＝5月10日⑨まで(必着)。

●応募方法＝写真裏にお子さんの住所、氏名(ふりがな)、生年月日、性別、電話番号、コメント(30字以内)、保護者名(父・母)を記入し、〒

863-8631(住所記載不要)天草市役所秘書課へ郵送または持参してください。なお、写真はお子さんが大きく、鮮明に写っているものをお願いします。また、写真の掲載は9人まで(応募者多数の場合は抽選)とし、応募写真は返却しません。

読者のつぶやき



“イッペイ満開” 棚底ジョウ (倉岳町)

自宅に植えてあるブラジルの桜ともいわれる花“イッペイ”が、黄色い花を咲かせています。25年前、ブラジルの親戚が里帰りした時、小さい苗を持って来て植えたのが、今では5mの高さに成長して毎年美しい花を咲かせて珍しがられています。

“趣味の折り紙で安全祈願”

折り紙おじさん (八幡町)

春の全国交通安全運動にあわせて、趣味の折り紙で“かぶと”を創作し、天草警察署へ例年のように届けてきた。今回の運動目標と「交通安全・勝つかぶとの緒を締めよ！」の熱き言葉を添え、台紙に貼リー市民としてお願いしてきた。



皆さんからのお便りを募集しています！

身近であったできごとや、季節に思いをはせることなど、ぜひご応募ください。原稿は100字程度で、応募者多数の場合は選考のうえ掲載します。

※表記などを統一するため、趣旨を変えず文章を直すこともあります。

▶応募期限＝5月10日⑨まで(必着)。

▶応募方法＝寄稿文をまとめたものに、ペンネームと住所、氏名、性別、電話番号を記入し、〒863-8631(住所記載不要)天草市役所秘書課へ郵送または持参してください。

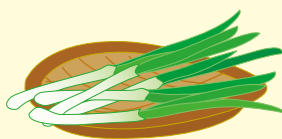


熊本では広く知られている郷土料理ですが、天草でも定番の料理です。ひともじが口の中で“プチュッ”とはじける感触が特徴で、昔から人々に親しまれてきました。もともと、肥後藩が耐乏生活をしていたときに、酒のさかなとして出されたのが始まりのようです。ひともじが一気に成長する春に、色どりと食感を楽しみたい1品です。

～ひともじのぐるぐる～

材 料 (約4人分)

わけぎ(ひともじ) …… 200g
からし酢みそ
・白みそ …… 小さじ2杯
・練りからし …… 小さじ1/2杯
・酢 …… 小さじ2杯
・砂糖 …… 小さじ1杯



作 り 方

- ①わけぎはしんの固さが抜けない程度にさっとゆで、ザルにおいて粗熱をとる。
- ②わけぎをぐるぐると巻きつける。
- ③白みそ、練りからし、酢、砂糖を混ぜ合わせてからし酢みそを作り、盛り付けた②にかける。

提供：市食生活改善推進員協議会



天草コレジヨ館開館20周年・
天草キリシタン館7月オープン記念シリーズ①
※7月1日から、天草切支丹館の名称が天草キリシタン館になります。

「キリスト教伝来」

今から約450年前の日本は、戦国時代という動乱期でした。世界は大航海時代に突入しており、その波は日本へも押し寄せます。天文18年(1549年)には、宣教師ザビエルが鹿児島に上陸し、初めて日本にキリスト教がもたらされ、九州・山口へ広まりました。キリスト教が急速に広まった背景には、鉄砲などの南蛮貿易への期待もあったようです。

そのころの天草は、“天草五人衆”と呼ばれた有力者たちの時代で、永禄9年(1566年)には、五人衆の1人志岐麟泉^{りんせん}の要請を受け、日本布教長トルレスが修道士アルメイダを派遣しました。このとき初めて天草にキリスト教が伝わり、志岐氏が最も早くキリシタンになりました。やがて志岐氏が棄教しますが、その後は天草氏の領地である河内浦に布教活動の中心が移ります。天草氏の領内には30以上の聖堂が建てられ、天草におけるキリシタン文化が華開いていくことになります。



▲アルメイダのスケッチ
(舟越保武・作=天草切支丹館収蔵)

このコーナーでは、来月号以降「歴史の証」と「天草アーカイブズ収蔵・思い出写真館」を隔月で掲載します。

「走さんと葉さんが異動され、置いてけぼりの私は少しさみしい気持ちで2年目がスタートです。それでも『海』さんが新たに仲間入りして、紙面も今号からリニューアル。私も気分一新でがんばるぞー！あ、すっかり『凡』さんの存在を忘れていました。すみません…係長…。」

はじめまして！4月の人事異動で広報担当になりました『海』です。まさか、自分がこの編集後記を書くとは思っていませんでした。広報ウーマンが務まるのが不安ですが、市の情報や魅力をわかりやすくお伝えできるよう、努力していきたいと思います。よろしく願います。『素』

毎年恒例の「田植え」が終わりました。田んぼではどろんどろんがさなぶりをして大合唱。自身もさなぶりで、稲がすくすく育つように祈りました。夕食時には、どろんどろんと混ぜて『わっく』も低音で参加して奏でるハーモニーを聞きながら、風流な春にグラスを傾けるこのごろです。『凡』

